

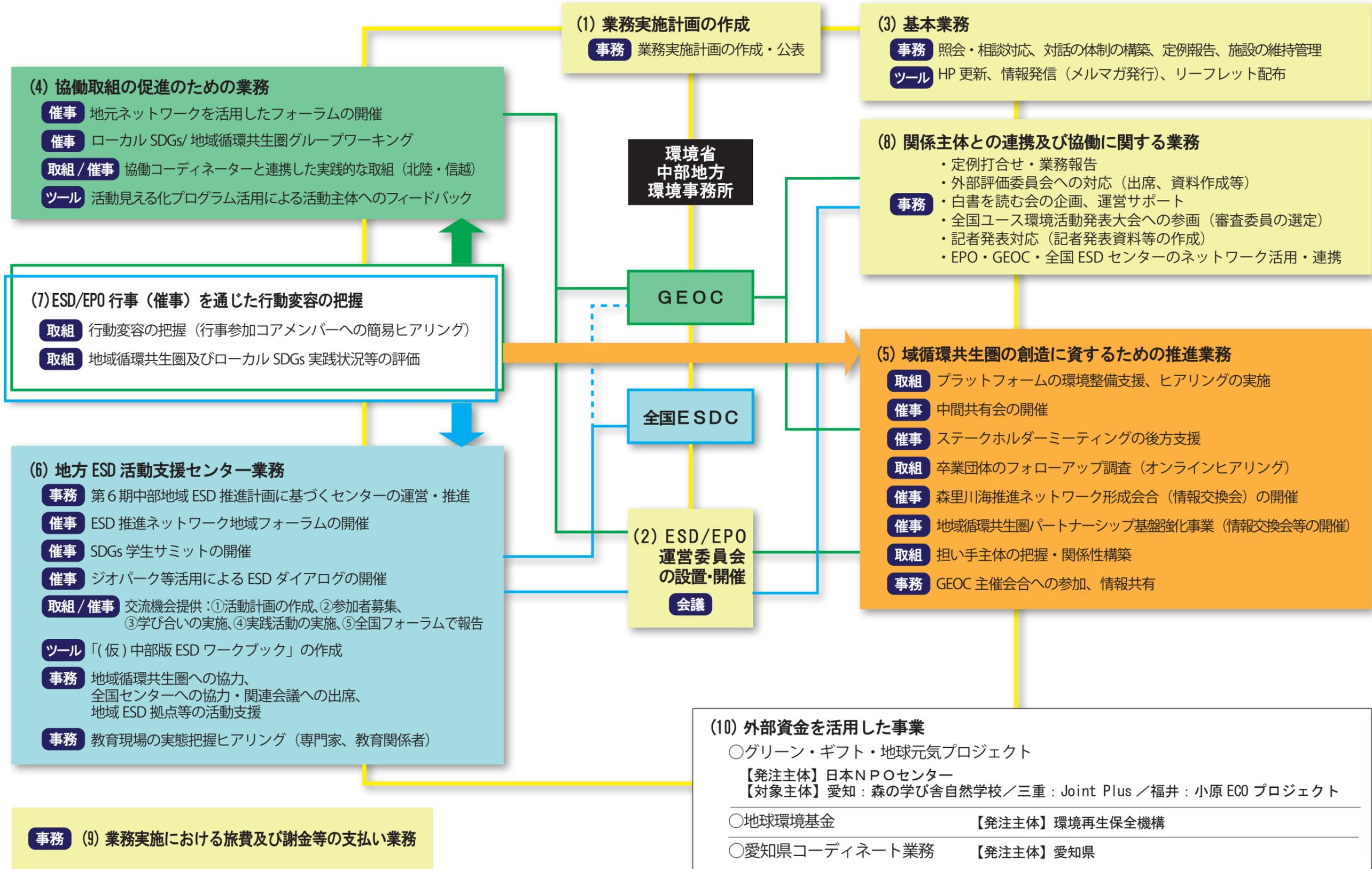
E P O 中部運営業務

2022 年度 業務実施計画



年度目標

地域循環共生圏づくり支援への総括と、その汎用化・共有化によって地域循環共生圏づくり・ローカル SDGs 推進に向けて、地域が能動的、持続的に取り組む方を提示します。



第6期 目標

アフター・コロナ、地域循環共生圏づくり・SDGs 活用が進みつつある中部エリアにおいて、新フェーズに対応し、地域が必要とする協働・ESD・SDGs の実装・実践のための支援と、誰も取り残されないターゲット設定、EPO 機能強化の関係構築に取り組めます。

(10) 外部資金を活用した事業

- グリーン・ギフト・地球元気プロジェクト
【発注主体】日本NPOセンター
【対象主体】愛知：森の学び舎自然学校 / 三重：Joint Plus / 福井：小原 ECO プロジェクト
- 地球環境基金 【発注主体】環境再生保全機構
- 愛知県コーディネート業務 【発注主体】愛知県

2022年度業務スケジュール

仕様書業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 業務実施計画の作成	業務実施計画の作成・公表	富田	作成	運営委員会への提示	修正→公開									
2 運営会議	ESD/EPO運営委員会の設置・開催【2回】	清本、原、富田、小松	資料作成、開催準備・調整	運営委員会1開催	開催結果とりまとめ→公開						資料作成、開催準備・調整	運営委員会2開催	開催結果とりまとめ→公開	
3 基本業務	3-1 HP(EPO、ESD)の更新・維持管理	富田、小松	月2回以上の更新を適宜実施											
	3-2 収集・整理・蓄積した情報の発信(メールマガジン発信)	小松	月1回以上の配信を適宜実施											
	3-3 リーフレットの配布	富田、小松	印刷	以後、適宜印刷のうえ、イベント等で配布										
	3-4 照会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	清本、原、富田、小松	適宜実施し、記録及び報告											
	3-5 定例報告	富田、小松	毎月初めに報告資料を集計・作成、提出											
4 協働取組の促進のための業務	4-1 地元ネットワークを活用したフォーラム開催【1回(3時間)】	清本、原、富田、小松	各連携主体にヒアリング ↓ 企画案等を作成	運営委員会に諮る	関係地域・団体(5-8担い手を想定)との調整、企画・準備			フォーラム開催					運営委員会に報告	
	4-2 協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【北信越2回(各2時間)】				協働コーディネーターとの調整	フォーラム開催	フィードバック	関係地域・団体との調整・準備	フォーラム開催					
	4-3 活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【2事例】				ヒアリング	見える化チャート作成	フィードバック							
	4-4 ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)】				企画案作成	関係者との調整、準備	ワーキング開催							
5 地域循環共生圏の創造推進業務	5-1 プラットフォーム支援:新規団体(2団体)ヒアリング、月1回以上の連絡等	富田	各PFにヒアリング実施	とりまとめ報告	各団体のサポート計画(スケジュール・意向等)に応じて適宜支援						次年度展開の事務局打合せ			
	5-2 PFステークホルダーミーティング開催の後方支援(2団体)	清本、原、富田			実施方法等についてPFと調整		PF2団体それぞれで意見交換会開催							
	5-3 中間報告会【1回(3時間)】	清本、原、富田			実施日・場所・方法等について関係者と調整	企画案作成	準備	中間報告会の開催					成果共有会	
	5-4 環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業形成会議、成果共有会	清本、富田	適宜参加		キックオフM									
	5-5 卒業団体のフォローアップ調査;ヒアリング【1件】	清本、富田		運営委員会に諮る	依頼	ヒアリング実施	結果とりまとめ							
	5-6 森里川海生態系ネットワーク形成会合(情報交換会)【2回】	清本、富田	関係主体へのヒアリング	運営委員会に諮る	関係者との協議・調整	企画案作成	準備	第1回情報交換会の開催		関係者との協議・調整	企画案作成	準備	第2回情報交換会の開催	
	5-7 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業;情報交換会【4回】、GEOCへの情報提供	清本、富田		運営委員会に諮る	財務局との協議・調整/企画案作成	準備	①北陸会合まとめ	②東海会合まとめ	③会合;PFエリア開催	④会合;PFエリア開催				
	5-8 担い手主体の把握・関係性構築	富田	対象団体検討	ヒアリング実施	結果とりまとめ	対象団体支援の企画調整		4-1フォーラム開催						

全業務の実施結果のとりまとめ/年間報告書の提出

2022年度業務スケジュール

仕様書業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
6 中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1 センターの運営・推進	原、富田、小松	第6期中部地域ESD推進計画に基づき適宜実施													
	6-2 地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	適宜対応													
	6-3 ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回】	清本、原、小松	企画案作成	運営委員会に諮る	関係機関との調整・準備					フォーラム開催						
	6-4 SDGs学生サミット【1回(半日程度)】	清本、原、小松	企画案作成		関係機関との調整・準備								学生サミット開催			
	6-5 ジオパーク等の活用;ESDダイアログの開催	清本、原、小松	企画案作成		ジオパーク関係者との調整・準備							ESDダイアログ開催				
	6-6-1 交流機会提供 ①活動計画の作成、②交流者の参加募集、⑥全国フォーラム結果報告	原、小松	①活動計画の作成		センターとの共有	②参加募集							⑤全国フォーラム報告			
	6-6-2 学び合いの実施;③学び合いの場【2回】、④SDGs社会教育WG【3回】、⑤実践活動	原、富田、小松			関係者との調整	④WG1	準備	③学び合い1	③学び合い2	④WG2	⑤実践活動	④WG3				
	6-7 「(仮)中部版ESDワークブック」の作成	原	プロトタイプ版の改訂方法の検討		④WG1	ワークブックの内容検討		④WG2	④WG3	原稿作成		ワークブック完成				
	6-8 教育現場の実態把握と連携強化:①専門家【1名(2時間)】②教育関係者【2回(各2時間)】	原									業務関係者の専門家・教育関係者等へのヒアリング実施	とりまとめ				
	6-9 地域循環共生圏への協力、全国センターとの連携協力の推進	原	適宜実施													
6-10 全国ESDセンターとの連携;企画運営委員会【2回】、連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】に出席・参加	原	適宜出席・参加														
7 行動変容の把握	7-1 行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田									業務の連携・協力者6団体へのヒアリング、結果とりまとめ	運営委員会2に報告				
	7-2 SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原	計画案作成	運営会議1に諮る	SDGs等の実践状況等の評価方法整理					2事例で試行的に実践						
8 関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1 事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告		適宜実施(月1回以上の打合せ、月次報告)													
	8-2 外部評価委員会への出席【1回】、資料作成対応	清本、原、富田、小松									資料作成	外部評価委員会出席				
	8-3 白書を読む会の企画協力、広報協力、運営サポート		名古屋市との調整、協力事項確認	名古屋市側のスケジュール等に応じて適宜実施		白書を読む会開催										
	8-4 全国ユース中部大会に参画【1回】、審査委員の選定	清本									審査委員の推薦	中部大会に参画				
	8-5 記者発表等報道対応	富田	適宜実施													
	8-6 GEOC主催の全国EPO連絡会議【3回】、情報交換会【3回】への参加・出席	清本、富田	適宜参加・出席等対応													
9 業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	小松、小栗	適宜実施														
10 外部資金を活用した事業;①グリーン・ギフト・地球元気プロジェクト、②地球環境基金、③愛知県環境学習コーディネーター業務	清本、小栗、小松、服部	①日本NPOセンター、②環境再生保全機構、③愛知県環境学習プラザと連携して適宜実施														

全業務の実施結果のとりまとめ/年間報告書の提出

EPO中部令和4年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目	業務内容	担当	インプット(仕様書、計画書)			アウトプット(指標)			アウトカム		備考
			外部関係者とその役割	催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)	
1 業務実施計画の作成	業務実施計画の作成・公表	富田	・外部有識者:必要に応じて助言		・令和4年度の業務実施計画の作成 ・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討	・令和4年度業務実施計画書 ・令和4年度アウトプット・アウトカム目標一覧表			・担当官、運営委員会等関係者による当年度EPO中部ESDC計画としての内容の十分な認知 ・各指標による評価の実施と説明による、担当官、運営委員等の理解	・令和4年度業務遂行計画として事業推進の内容が見える化される。 ・それぞれの業務についてアウトプット、アウトカムの評価が可能となる。	
2 運営会議	ESD/EPO運営委員会の設置・開催【2回】	清本、原、富田、小松	・外部有識者:運営委員として議論参加、助言	・ESD/EPO中部運営会議(2回オンライン開催)	・9名程度の運営委員(6~3級相当)で構成 ・年1回以上、委員の情報(役職、所属)に変更がないか確認 ・運営委員に業務参画を促すための進捗状況情報を適宜提供	・会議資料、議事録		・各回7名以上の参加	・業務に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・業務に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただくとともに業務に積極的な参画を得て効果的な活動を展開に寄与する。	
3 基本業務	3-1 HP(EPO、ESD)の更新・維持管理	富田、小松	・専門業者:相談(管理問い合わせ等)		・HPの更新	・HPのページ更新(月2回以上)		・ページビュー数(昨年度同水準以上)	・更新されたHPに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・HPによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
	3-2 収集・整理・蓄積した情報の発信(メールマガジン発信)	小松			・メールマガジンの作成・発行 ・SNSによる情報発信	・メールマガジン(月1回以上) ・SNS記事		・情報発信回数(昨年度同水準以上)	・情報発信頻度の維持、拡大 ・コンテンツに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・EPO、ESDCの認知の維持、拡大 ・好感度の向上、掲載情報利用の拡大	
	3-3 リーフレットの配布	富田、小松	・印刷:外注(必用に応じて)		・リーフレットの印刷・配布(印刷は必要に応じて)	・リーフレット(必用に応じて情報更新A4フルカラー必要部数)		・配布数(昨年度同水準以上)	・配布部数の増加、リーフレットに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・リーフレットによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
	3-4 照会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	清本、原、富田、小松	・外部の様々な活動団体:活動等参加先		・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集。マッチング支援や助言	・照会・相談の記録簿 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録 ・講師派遣の記録		・紹介・相談件数 ・資料収集数、参加記録件数 ・講師等派遣回数	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数の増加 ・講師派遣件数の増加	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の推進	
	3-5 定例報告	富田、小松			・業務日報等の関連文書の作成と報告	・業務日報等の文書			・事務所担当官の状況把握と理解	・事務所担当官の状況把握と理解による全体業務の円滑な運営	
4 協働取組の促進のための業務	4-1 地元ネットワークを活用したフォーラム開催【1回(3時間)】		・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・フォーラム(ハイブリッド、1回、3時間、30名程度)		・開催記録		・参加者30名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	4-2 協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【北信越2回(各2時間)】	清本、原、富田、小松	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・実践的取組(必用に応じてオンライン、2回程度、各2時間程度、30名程度)		・開催記録		・参加者各30名程度 ・中間支援団体等との連携協働実績	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	4-3 活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【2事例】		・協働コーディネーター、地域関係者との連携		・活動内容のヒヤリングと活動見える化プログラム分析	・分析票(2事例) ・分析チャート(2事例)			・分析対象主体や関係者の感想、意見	・分析対象主体の取組構造とSDGs貢献の意義の認識の向上	
	4-4 ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)】		・NPO、基礎自治体、事業者等	・セミナー及びワーキング(オンライン、1回、3時間程度、講師1名(大学教授級))		・開催記録		・参加者20名程度、学識者1名参加	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上(自治体内部局横断意識含む)、認知の拡大、知見の増加	
5 地域循環共生圏の創造推進業務	5-1 プラットフォーム支援:新規団体(2団体)ヒヤリング、月1回以上の連絡等	富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、GEOC		・伴走支援(月1回以上の採択団体との電話やオンライン会議等による連絡、関係者との調整支援、会議運営にかかる助言、人材育成の支援、採択団体がマンダラ作成を通じて行う課題整理・協働取組の各過程の支援、事業発掘のプロセス支援などを実施)の提供 ・登録団体や過年度の採択団体への環境ローカルビジネスづくりの情報提供 ・新規採択団体の事業目標及び年間計画等ヒヤリング、ヒヤリング結果、全団体支援計画等のGEOCへの提出	・伴走支援の記録(各団体月1回以上) ・(新規採択)団体の事業目標及び年間計画等ヒヤリング結果 ・全団体支援計画等(GEOC提出)	・地域循環共生圏取組みの伴走等支援についての知見	・環境整備のプロセスにかかる支援(2団体程度、各2回程度現地支援) ・各団体との連絡調整(月1回以上)	・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想	・地域循環共生圏の取組に対する適切な伴走支援方法とその効果についての知見の蓄積	
	5-2 PFステークホルダーミーティング開催の後方支援(2団体)	清本、原、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、	・各活動(採択)団体が行う環境整備を推進するためのステークホルダーミーティングの後方支援	・開催結果を取りまとめとGEOCへの報告	・開催記録		・ステークホルダーミーティング開催実績	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏の取組理解の深化、出口戦略への意識化	
	5-3 中間報告会【1回(3時間)】	清本、原、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者	・中間共有会(1回程度、3時間程度)		・開催記録	・各団体同士の情報共有	・関係団体の参加	・関係者のご意見	・採択団体同士の相互参照によるネットワーク形成	
	5-4 環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業形成会議、成果共有会	清本、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、本省、GEOC		・GEOCが主催する地域循環共生圏の支援に向けた、キックオフミーティング(1回、都内、2日程度、6月)、作業部会(2回程度、1回当たり3時間程度、都内。)、共有会(1回、3時間程度、オンラインを想定)、生圏PF事業形成会議(1回、3時間程度、オンラインを想定)、成果共有会及びネットワークイベント(1回、都内、2日程度、3月)参加 ・キックオフミーティング及び成果共有会にむけての活動(採択)団体の資料作成等支援し、当日の意見交換補佐		・参加による情報共有 ・資料作成等支援と意見交換補佐		・関係者のご意見	・全国地方EPOとの情報共有とその知見による伴走支援の促進・向上	
	5-5 卒業団体のフォローアップ調査:ヒヤリング【1件】	清本、富田	・中部EPO管内卒業団体、GEOC		その後の取組の進捗の把握について、卒業団体のオンラインヒヤリング(1件程度)	・GEOCへのヒヤリング報告書			・GEOC等関係者のご意見	・PF事業の進め方、効果、支援のあり方の共有	
	5-6 森里川海生態系ネットワーク形成会合(情報交換会)【2回】	清本、富田	・地域の自治体、企業、金融機関	・森里川海推進ネットワーク形成会合(情報交換会)の実施、2回程度、2時間程度、30名程度		・森里川海推進ネットワーク形成会合記録		・参加者30名程度(各回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・森里川海運動の促進のための地域自然資源のワズユース重要性の共有、ネットワークの形成	
	5-7 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業:情報交換会【4回】、GEOCへの情報提供	清本、富田	・企業及び地域金融や経済団体	・情報交換会の開催(4回程度、2時間程度)				・参加者20名程度(各回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏づくりにおける経済・金融機関とのネットワークの形成	
	5-8 担い手主体の把握・関係性構築	富田	・5-1から5-7の関係者		・地域循環共生圏に通じる担い手(団体等)について、把握し地域循環共生圏に関する情報を提供するほか、関係性を構築する(2団体程度)			・地域循環共生圏に通じる担い手団体関係性構築(2団体程度)	・地域循環共生圏に通じる担い手団体の意見や感想	・担い手団体による地域循環共生圏の促進、意識の向上	

EPO中部令和4年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目	業務内容	担当	インプット(仕様書、計画書)			アウトプット(指標)			アウトカム		備考
			外部関係者とその役割	催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)	
6 中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1 センターの運営・推進	原、富田、小松	・ESD関係者		・相談対応、情報発信、各事業でのネットワーク構築			・3基本業務のアウトプットに含む	・3基本業務のアウトカムに含む	・ESD関係者とのネットワーク構築と知見の集積	
	6-2 地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	・地域ESD拠点関係者		・地域ESD拠点情報交流、ESD拠点登録支援			・ESD拠点登録数	・ESD拠点関係者の意見や感想(ヒヤリング)	・中部地方のESDネットワークの拡充	
	6-3 ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回】	清本、原、小松	・地域ESD拠点関係者	・ESD推進ネットワーク地域フォーラム開催(1回)		・地域フォーラム開催記録		・ESD拠点関係者(20人程度)	・ESD拠点関係者の意見や感想(アンケート等)	・地域におけるESD活動の課題やニーズ、普及・啓発の効果的な手法等について参加者同士の共有	
	6-4 SDGs学生サミット【1回(半日程度)】	清本、原、小松	・中部地方大学研究室、地方自治体等	・ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム中部学生サミット【1回(半日)ノオンライン】	活動分析へのSDGsチェックリストの概念活用	・開催記録		・サミット参加30名程度	・参加者の意識等(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	6-5 ジオパーク等の活用:ESDダイアログの開催	清本、原、小松	・ジオパーク等、環境省地域資源 ・専門家等のゲスト:講演、話題提供、講	・「自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ」の開催【1回】半日程度		・ダイアログ開催記録		・参加者20名程度 ・専門家1名(大学准教授級)	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	6-6-1 交流会提供 ①活動計画の作成、②交流者の参加募集、⑥全国フォーラム結果報告	原、小松	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点		・活動計画の作成 ・交流者の参加募集(全国センターのネットワークで調整) ・全国フォーラム結果報告(全国センターのネットワークで調整)	・活動計画書 ・活動報告書(全国フォーラム報告書)				・ESDネットワークにおける中部ESDC活動の情報共有と理解の促進	
	6-6-2 学び合いの実施:③学び合いの場【2回】、④SDGs社会教育WG【3回】、⑤実践活動	原、富田、小松	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点	・学び合いの場【2回】オンライン ・SDGs社会教育WG【3回】 ・実践活動【1回】				・学び合いの場【2回(各1.5時間)】のべ20名 ・SDGs社会教育WG【3回(各2.5時間)】有識者と実務者計4人 ・実践活動【1回(2時間)】20名	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・実績のある社会人ESDの情報共有による「ローカルSDGsのためのESDの社会実装」への貢献	
	6-7 「(仮)中部版ESDワークブック」の作成	原	・有識者によるWG	・SDGs社会教育WG:有識者によるWGディスカッション(6-6-2)	・ワークブック作成のための調査、情報収集 ・「現場から学ぶ!SDGs人材育成ワークブック」(試行版)の作成	・「現場から学ぶ!SDGs人材育成ワークブック」(試行版)コンテンツ	・関連する実例、知見		・ワークブックについての運営委員など関係者のご意見	・ワークブックの試行活用による社会ESDの促進	
	6-8 教育現場の実態把握と連携強化:①専門家【1名(2時間)】 ②教育関係者【2回(各2時間)】	原	・SDGs、ESDに詳しい専門家 ・SDGs意思のある教育関係者、教育委員会、現場の教員		・専門家への包括的ヒヤリング(オンライン、2時間程度、1回、大学教授級1名想定) ・教育関係者へのヒヤリング(オンライン、2時間程度、2回程度)	・ヒヤリング結果			・ヒヤリング対象の感想 ・運営委員等の外部評価	・有意義な知見の入手 ・ESD、SDGs専門領域との連携強化	
	6-9 地域循環共生圏への協力、全国センターとの連携協力の推進	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター		・ESDの考え方をベースに、「地域循環共生圏」の人づくりのための域資源を発掘し活用 ・活動状況調査等に対する情報・資料の提供等の協力・対応		関係する情報・資料			・ESD全国センター等ネットワークとの連携	
6-10 全国ESDセンターとの連携:企画運営委員会【2回】、連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】に出席・参加	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター		会議出席・参加による情報収集と整理 ・企画運営委員会(オンライン、2回程度、各半日) ・全国・地方連絡会(オンライン、2回程度、各半日) ・ESD推進ネットワーク全国フォーラム(オンライン、1回、1日)		・参加による記録等の情報共有		・中部ESD活動支援センター活動に反映させるべき知見の整理結果	・ESD全国センター等ネットワークや施策動向の把握		
7 行動変容の把握	7-1 行動変容の把握:行事参加者へのヒヤリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田	・4から6の関係者		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒヤリング(電話、メール等)	・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒヤリング結果		・ヒヤリング結果の分析と解釈	・地域循環共生圏構築行動など持続可能社会に貢献する行動変容		
	7-2 SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原	・関係する専門家等		・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の情報収集と活用	・地域SDGs評価試行の事例(2事例)	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用実践		・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用効果に関する専門家意見		
8 関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1 事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告			・定期的打合せ(月1回以上)	・月次報告書の作成	・月次報告書		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営		
	8-2 外部評価委員会への出席【1回】、資料作成対応	清本、原、富田、小松			・中部地方環境事務所開催会議への出席、資料作成対応	・対応資料		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営		
	8-3 白書を読む会の企画協力、広報協力、運営サポート				・白書を読む会の企画運営サポート	・企画運営サポート記録		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営		
	8-4 全国ユース中部大会に参画【1回】、審査委員の選定	清本			・全国ユース大会への参画、審査委員選定	・全国ユース大会参画、審査委員選定記録		・審査委員選定	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営		
	8-5 記者発表等報道対応	富田			・プレスリリース資料の作成、実施(必用に応じて)	・プレスリリース資料(必用に応じて)		・プレスリリース(必用に応じて)	・関係者の意見	・EPO中部の認知度の向上	
	8-6 GEOC主催の全国EPO連絡会議【3回】、情報交換会【3回】への参加・出席	清本、富田	・GEOC:全国EPO連絡会議開催	・GEOC主催の全国EPO連絡会議【3回】、情報交換会【3回】への参加・出席			・全国情勢の情報		・関係者の意見	・GEOC事業への協力	
9 業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	小松、小栗			・適正な支払い		・支払い記録		・会計部署の承認	・適正支出の明確化		
10 外部資金を活用した事業:①グリーン・キフト・地球元気プロジェクト、②地球環境基金、③愛知県環境学習コーディネーター業務	清本、小栗、小松、服部										